

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0501	政策名	効率的・効果的な行政運営	施策主管課	秘書政策課	課長名	富澤 秀和		
政策の目指す姿	満足度の高い行政サービスを提供しています								
施策No	03	施策名	わかりやすい市政情報の提供	関係課名	東和総合支所地域振興課				
施策の目指す姿	タイムリーで分かりやすい市政情報を提供しています								
現状と課題									
<p>【現状】 ・広報や市ホームページ、コミュニティFM、SNSなどの市が所有する媒体を活用し、市政情報を発信しているほか、定例記者会見などを通じ、マスコミへの情報提供を行っています。 ・原則月2回発行している広報は、区長をはじめとする地域の方々のご協力を得て全戸配布していますが、配布に携わる方の高齢化や担い手不足のため、地域の負担が増えています。</p> <p>【課題】 ・市政情報が、より多くの方に迅速・正確に伝わるために、若者、高齢者など幅広い年齢層や生活形態に合わせ、様々な情報発信の方法とわかりやすい表現方法をとるよう工夫するとともに、新聞やテレビ・ラジオなどを通じて市政情報の発信ができるように、積極的にマスコミに情報提供を行うことが必要です。 ・広報等の配布の負担軽減のため、広報の発行回数の見直しを求める声があります。一方で、広報発行回数を削減することで、市の施策や事業などの情報をタイムリーに発信することが今までより困難になることから、広報の発行回数について慎重に検討する必要があります。</p>									
前年度の評価の振り返り									
前年度評価時の今後の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信にあたっては、引き続き「わかりやすくタイムリーに」を念頭に置き、市民に広く早く伝えられるようニュースソースによって、利用する媒体の選択や発信する順番などを含め、より効果的な情報の発信について、他の例を参考にしながら検討する。 ・ホームページをはじめ、情報発信に際して、利用者（情報の受信者）に正しく伝わりやすいタイトルや内容となるよう工夫する。 ・行政区長等の負担軽減を考慮するとともに、市政情報の取得機会を十分に確保して、市広報の世帯配布の方法や発行回数を検討する。 									
反映状況									
<ul style="list-style-type: none"> ・広報はなまき、ホームページ、有線放送、SNS、コミュニティFMの市が所有する媒体の特性と情報の内容やスピードを考えて情報の発信を行った。 ・ホームページやSNSなどでの発信する情報は、受け手の目線に立ったわかりやすいタイトルなどとなるよう工夫するとともに、各部署でも取り組むよう周知を図った。 ・地域の労力負担を軽減するよう広報はなまきの発行回数を減らすことも視野に入れて関係部署と協議を行った。 									
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組									
<p>(1) 市政情報の発信強化</p> <p>「広報はなまき」への掲載情報の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報は毎月1回（1月を除く）、15日に広報はなまき発行 広報アクセスアプリ「マチイロ」R2登録者数1,546人（前年比 210人増） ・市HPアクセス数 R2:7,028千件、R1:5,865千件、H30:3,505千件 <p>市民がより見やすい、使いやすい市ホームページの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が取得しやすくなるようトップ画面にバナーを設けたり、都度、見直しを行い階層の修正等を行った。 <p>コミュニティFMやSNSなど様々なメディアによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例記者会見の内容や広報のトップ記事を取上げるとともに、R2年度は新型コロナウイルス感染症に係る市議会臨時会の市長報告等、感染予防や支援策等の周知を行った。 ・フェイスブックやツイッターを活用して市政情報を発信（FBリーチ数 R2:454千件、R1:582千件、H30:489千件、ツイートインプレッション R2:3,998千件、R1:4,209千件、H30:2,707千件）、そのほか、引き続きインスタグラムは当市の魅力で画像を、また有線放送は放送事業を民間委託して実施しそれぞれに情報を発信した。 <p>定例記者会見の開催などマスメディアを通じた情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の定例記者会見の資料やマスコミリリース用の資料について、内容やタイトルがわかりやすくなるよう工夫して発信した。 <p>広報はなまきの発行回数の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報の世帯配布など、地域の労力負担の軽減について、発行・配布回数を減らすことなど、関係部署と協議、研究を行った。 									
2 成果指標									
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
			目標値						
			実績値						
			目標値						
			実績値						
			目標値						
			実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
<p>・なし</p>
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(広報活動充実事業)～ 市民アンケート「市役所からの情報提供がタイムリーで分かりやすい」とされる割合は、R1:66.2%、H30:65.9%、H29:64.7%と僅かながらも増えてきていたが、R2:57.7%と減少した。他の事例をも参考としながら、改めてわかりやすく、タイムリーな情報発信を行う。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
<p>・なし</p>

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・市が所有する媒体をはじめ、マスメディアも有効に活用して情報発信を行う必要がある。 ・原則、月2回発行の広報はなまきの世帯配布について、地域の労力負担を軽減するため発行回数等を見直す必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、わかりやすくタイムリーな情報発信となるようまた、広く早く情報が取得できるよう情報の内容によって、利用する媒体の発信する順番等を工夫する。 ・広報はなまきの発行回数について、地域の労力負担の軽減を念頭に置いて関係部署と引き続き協議を行うとともに、インターネットを介した情報取得の動向を探る。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
			直結度		
010	広報活動事業費	秘書政策	一致	直結	C
	広報はなまき、市ホームページ、SNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラム)、コミュニティFM、はなまきケーブルテレビを活用した市民への情報発信(広報発行部 36,411部/回・年23回発行)				
			A		
011	広報活動事業費	東)地域	一致	直結	
	東和地域における有線放送による情報発信(放送件数 562件/年)				
			A		